

第9回「健康長寿のまち・京都市民会議」総会 摘録

1 開催日時及び場所

令和7年1月22日（水）午前10時30分から正午
京都市役所本庁舎1階 第1・第2・第3会議室

2 第1部 「健康長寿のまち・京都いきいきアワード2024」表彰式

- ・ 大賞、プラスせんぼ賞、スタートアップ賞の受賞者に表彰状を贈呈
- ・ 受賞者全体での写真撮影

3 第2部 議事

(1) 【発表】いきいきアワード2024 受賞団体からの発表

ア （大賞）唐橋むつみ会

資料に沿って説明

- 独居70歳以上の学区民を対象として、バランスの良い食事及び交流の場を提供。
 - ・ 昭和52年から活動開始、今年5月に開催400回を迎える。
 - ・ 老人クラブ連合会から場所の提供があり、昼食会を開催したことが始まり。
 - ・ 食事以外にも、童謡を歌う等のレクリエーションも行っている。
 - ・ 自治連合会、民生委員、老人福祉会が運営の中心で、食品は地域商店等から支援をいただいている。
- 今後も450回、500回と活動を続けていきたい。
 - ・ 今後、独居の方だけでなく70歳以上の夫婦も対象にすることを検討。

イ （プラスせんぼ賞）京都医健専門学校スポーツ科学科山本ゼミ

資料に沿って説明

- 学生と地域や企業が連携し、健康づくりを推進する活動を実施。
 - ・ 京都市の「プラスせんぼ」の取組の普及啓発に役立つと、姿勢の悪化やロコモティブシンドロームを防ぐ「歩き方ケアシート」を作成。
 - ・ 歩き方を学べるオリジナルレクリエーションとして、「動物進化じゃんけん」を考案し、学内外で提供。

(2) 【報告】市民会議各団体の取組

ア 一般社団法人京都市老人クラブ連合会（すこやかクラブ京都）

資料に沿って説明

- 京都市老人クラブ連合会は、昭和41年9月に設立。平成26年には、愛称として「すこやかクラブ京都」となる。
 - ・ 老人クラブは、概ね60歳以上の方を対象に、地域ごとに30人以上が集まり、単位クラブとして活動しており、学区単位、11の行政区ごとの連合会を

基に京都市老人クラブ連合会として組織。

- ・ 令和6年度当初、京都市内においては、793クラブ・約4万1千人の会員数。
- ・ 都道府県及び政令指定都市ごとの老人クラブ連合会により、組織された財団法人全国老人クラブ連合会（約8万1千クラブ、405万会員）
- 「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」を全国老人クラブのメインテーマとし、「健康」「友愛」「奉仕」全国三大運動を推進。
- 広報活動として、広報紙「すこやかクラブ京都」を年2回発行（約5万部）、ホームページを開設。

イ 大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部京滋北陸支店

資料に沿って説明

- 大塚製薬株式会社は京都市と「健康長寿のまち・京都の推進に関する連携協定」を締結。
- また、環境省と環境再生保全機構と「熱中症対策の推進に関する連携協定」を締結。
- 京都市から熱中症対策普及団体の指定を受けて、市と連携しながら熱中症対策啓発活動を行っている。
 - ・ 市職員向けに熱中症対策アンバサダー受講推奨
 - ・ 高齢者に向けて有識者による熱中症対策研修会開催
 - ・ 市民、観光客に向けて京都市地下鉄広告を活用した啓発
- 熱中症以外でも文化スポーツ振興、フレイル対策、朝食摂取推奨等の活動を実施。

ウ 京都市

資料に沿って説明

- 健康づくり活動の入口として、「歩く」をテーマに市民ぐるみ運動として展開。まずは現状よりも1日の歩数を1,000歩増やすことから始めていただくため、「プラスせんぼ」の普及に取り組んでいる。
 - ・ 「京・食ねっと」をリニューアルし、開設した「京・けんこうひろば」においても、プラスせんぼを普及啓発。
 - ・ 京都市公式YouTubeチャンネルで「歩き方の紹介動画」や各行政区、地域の「プラスせんぼ」で歩けるルートを名所と併せて紹介。
 - ・ 9月には、イオンモール京都桂川において、市民会議協賛団体との連携の下、健康づくりを啓発するイベント「イオンモールでけんこうひろば」を開催。
 - ・ 京都ハンナリーズと連携し、新たな「プラスせんぼ」啓発動画を作成。また、「イオンモールでけんこうひろば」での連携や「はんニャリンプロギング」を実施。

(3) 【講演】「ロコモティブシンドローム予防について」

講師：劉 和輝 京都府医師会 健康日本 21 対策委員会副委員長/
京都府立医科大学臨床教授

(4) 【議題】役員等の選任（改選）

- ・ 前回の役員改選から、任期の2年間が経過したため、後任の役員等を選任

ア 理事の選任

事務局：

コロナ禍を経て、市民の皆様や各種団体の活動が再展開されつつある中、これまでの取組の流れをしっかりと継承しながら、市民会議の活動を一層活発なものとするため、現理事を選出する団体及び現理事の再選を事務局から提案。

併せて、「oh!ばんざい」の後任団体として、食の分野から「京都府栄養士会」を提案。

また、「特別顧問」並びに「顧問」についても、再選を提案。

⇒総会として決定

イ 会長選任

山舗理事から、健康づくりの知識の造詣が深く、また、影響力のある方として、京都府医師会会長の松井理事が推薦され、理事会として松井理事を市民会議の会長に推薦。

⇒総会として承認

ウ 副会長の選任

松井会長から、京都市の健康づくりに関する施策に深く関わり、京都市民健康づくり推進会議の議長である京都大学大学院医学研究科の中山教授を指名。

⇒総会として承認

以上